

# アクティブ サポート 京都

Active Support Kyoto

京都産業21のビジネス情報誌

09

Sep. 2004. No.012

<http://www.ki21.jp>

## CONTENTS

ケータイ産業文化研究会	1 ▶ 2
中小企業総合展	3 ▶ 4
京都府異業種交流会連絡会議	5 ▶ 6
産学公連携	7
設備貸与制度	8
ビジネスパートナー交流会2005	9
起業家フォーラム&セミナー	10
中堅社員研修	11
IT関連講習会	12
受発注コーナー	13
遊休機械設備コーナー/CD-ROMガイドブック	14
行事予定表	15

出展企業  
募集中!

**京都ビジネスパートナー交流会2005**

～2005年2月8日(火)-9日(水)～

国立京都国際会館 **締切: 9月30日(木)**

がんばる企業を支援します。

**財団法人 京都産業21**

Kyoto Industrial Support Organization 21

# モバイルEC研究会「オープン研究会」開催!

ケータイ産業文化研究会の分科会の一つモバイルEC研究会(ケータイ産業文化研究会8月例会)が、去る8月6日(金)、京都リサーチパーク1号館において開催されました。

今回はオープン研究会ということで、ケータイ産業文化研究会会員、非会員合わせて21名が参加。

第1部の講演は、講師として東京から気象情報システム株式会社の高津敏社長をお招きし、「進化する情報ビジネス・気象ビジネス」をテーマに情報ビジネスのいろはと秘訣を語っていただきました。第2部のディスカッションでは、京都産業大学経営学部井上一郎教授をコーディネータ役に、活発なディスカッションがされました。

研究会終了後は会場を移動し、よりリラックスした雰囲気の中で交流会を開催、互いの親交を深めました。

## 第1部：講演

### 「進化する情報ビジネス・気象ビジネス」

～天気で元気! モバイルで価値ある気象コンテンツサービス～



気象情報システム(株)  
代表取締役 高津 敏 氏

#### <講師プロフィール>

'74年に北海道大学水産学部漁業学科卒業、'75年同学部特設専攻科終了後、東海水産(株)で巻網漁船の船長として船乗り等を経験。職場を陸へと移し、(株)海洋気象情報に勤務、気象情報ビジネスの営業から技術まで勉強後、'89年10月気象情報システム(株)(<http://www.wis-x.co.jp/>)を設立、代表取締役に就任、現在に至る。

インターネットの出現で、気象会社の価値は、組織の大きさや予報技術者の数で判断されるものではなく、コンテンツの内容・質そのものが重要視されるようになりました。

そこで、インターネット時代の生き残り条件として高津社長があげたポイントは、3つ。すなわち、「自己の弱点を知り、最適なアライアンスを結ぶことができるビジネスパートナーを求めること」、そして、「過去の経験や会社の大小に関係なく、責任も利益も共有するビジネス・フォーメーションを構築すること」、最後に、「果敢・速攻のチャレンジをしていくこと」。

そして、高津社長がめざしているのは、単なる天気予報ではなくソリューション予報。「安全・安心・健康・美容」をキーワードに、これらと天気の間を携帯電話でサービスし、顧客本位の価値あるコンテンツを提供していくということでした。

## 第2部：ディスカッション

参加者からは、気象情報の仕入や売り方、天気予報がはずれた場合どうするのかなど、具体的な質問が数多く寄せられ、参加者の気象ビジネスへの関心の高さがうかがわれました。最後に京都産業大学の井上一郎先生が、「気象庁の情報を使って、どのように顧客価値を創造していくのか」という今回の研究会の一番のポイントについて質問。

「スキンケアと天気(乾燥、UV)の関係から、よりお客さんの肌に合った化粧品を提案するなど、単なる予報ではなく、ソリューション(具体的な製品やサービス)として何ができるかを常に考えている。」との高津社長からのコメントをいただき、研究会を終了しました。



#### モバイルEC研究会 コーディネータ 井上 一郎 氏

京都産業大学 教務部長、経営学部/大学院マネジメント研究科教授、'69年京都産業大学理学部物理学科卒業。ハワイ大学大学院、マサチューセッツ工科大学大学院、ドイツ国立マックス・プランク研究所に留学。'74年日本電気(株)に入社、中央研究所勤務。'91年京都産業大学経営学部へ転出、現在に至る。

今回の講師 高津 敏 氏から読者の方にメッセージが届きました。

今年も、新潟や富山で繰り返された集中豪雨などの対策として、「ウェザー・コンタクト」や「地震番」サービスを行っています。今や、防災は行政依存から、住民が積極的に参加できる情報サービスが必要な時代です。警報や地震が発生したら、直ちに使いなれた携帯電話へ、情報をメールでダイレクトにお届けすることで、少なくとも人命を損なう不幸を削減・防止できます。

また、街角や自販機へ電光表示板などを設置し、防災・防犯情報をインターネットで提供する地域密着サービスで、かけがえのない子供や高齢者が安心して暮らせるお手伝いをしています。

地域の連帯がしっかりしているところは、事件や事故の発生を抑止する働きがあるといわれています。大学や防犯・防災企業等との協業を求めています。共同開発したサービスを、京都の金融機関などの会員サービスで行うことで、通信キャリアに依存している既存のビジネスモデルを一変できます。お互いのメリットは計り知れません。

人の身体、体調や気分と天気の関係は深いものがあります。真夏に発生する多くの凶悪犯罪や事故、高速道路の交通事故も気象が遠因と推測しています。また、女性のお肌や髪の手入れなども天気が影響しています。この分野についても、京都の大学や研究機関、進歩的な中小の医療メーカーや化粧品メーカーとの実証を重ねる事で、共同展開ができるものと思っています。

京都発、全国に通用するASPを是非とも実現したいと考えています。

後日、コーディネータ 井上 一郎 氏にインタビューさせていただきました。

●先生が、現在主に取り組まれている研究分野は何ですか？また、今後力を入れたいことは？

“知恵のマネジメント”（ナレッジマネジメントの一分野）です。今後も、組織を生き活きとさせ（組織活性化）、その中で、創造的に能力開発を推し進めるといふ、“知恵のマネジメント”の研究をさらに進めたいと考えています。

●今回の研究会のテーマとして、「気象ビジネス」を取り上げられた理由は何ですか？

気象庁から入手する限られたデータから、顧客価値を生み出すという点がおもしろいと思いました。このビジネスモデルが、他分野にも応用でき、皆さんにとって興味深いのではと考えたからです。

●今回の研究会を終えてどのような感想をお持ちになりましたか？

高津社長のお話が幅広く、参加者からも活発な意見が出て、コーディネータとしても大変やりがいのある研究会でした。今後も、皆さんのニーズに応じて、様々な研究会に出かけていきたいと思っています。

## ケータイ産業文化研究会のご紹介

「ケータイ」の持つ、ハード・ソフト両面からのビジネスの可能性や新しいコミュニケーションの探求及びそのあり方、産業文化エリア形成のための基本方向や地域間連携のあり方など「ケータイ」関連産業や文化面等での発展の可能性を探り、新たな市場の開拓と京都の主力産業分野の一つとしての振興に寄与することを目的とします。

**参加メンバー** 座長：今井賢一 スタンフォード日本センター理事  
会 員：府内を中心とする民間企業及び研究機関等  
事務局：京都商工会議所、(財)京都産業21、京都府

**分科会** 医療・福祉分科会、モバイルEC研究会(コーディネータ:京都産業大学 経営学部 井上一郎教授)、  
観光分科会、ITS分科会

【お問い合わせ先】

モバイルEC研究会事務局  
(京都府中小企業総合センター 産業支援部 産業振興課)

TEL:075-315-8622 FAX:075-315-9497  
E-mail:mobile@mtc.pref.kyoto.jp

# 中小企業総合展2004東京会場

## —市場創出と販路開拓による中小企業の経営革新の促進—

京都から10社1グループが出展！  
皆様のご来場をお待ちしております。



「中小企業総合展2004」は、これまで同時開催していた3つの展示会（「中小企業ビジネスフェア」「中小企業テクノフェア」「中小企業ビジネス・メッセ」）を統合した販路開拓や市場創出による中小企業の経営改革の促進を目的とした総合見本市で、大阪、東京の2会場にて開催いたします。

是非ともご来場いただき、京都から参加する中小企業の優秀な技術や製品等をご覧ください。

また、本展示会については、[財団ホームページ「Virtual展示会」](http://www.ki21.jp/tenji/index.html) (<http://www.ki21.jp/tenji/index.html>) においてもご紹介しておりますので、ご覧ください。

### 東京会場（東京ビッグサイト）

#### 【開催日時】

平成16年9月29日(水)～10月1日(金)  
10:00～17:00 (最終日16:00終了)

#### 【開催場所】


東京ビッグサイト 東4・5ホール  
東京都江東区有明 (<http://www.bigsight.jp/>)

#### ●東京会場に出展する企業・グループをご紹介します。

**(有) ティーズ・コーポレーション** 小間No. C-2-045 / 新製造技術

**水の手入れ不要の家庭用電子水琴窟**

所在地:〒600-8483 京都市下京区堀川高辻上ル吉水町344 西崎堀川ビル5F  
代表者:代表取締役 大橋 智夫  
TEL:075-813-7321 FAX:075-813-7320  
資本金:300万円 従業員:3人  
担当部署:営業部長 担当者:西尾 幸蔵  
URL:<http://www.suikinkutsu.net>  
E-mail:info@suikinkutsu.net




**P R** ● 蓬壺とは、ティーズ・コーポレーションが数々の水琴窟施工の経験を活かしたサウンドオブジェです。  
共鳴点で録音した専用CDを使用し、専用セラミックスピーカーと陶器が水琴窟の響きをリアルに再現します。さらにつくばいに張られた水が響きに潤いを与えます。

**出展品** ● 蓬壺 -Hoko-

**栄進電機 (株)** 小間No. C-2-045 / 新製造技術

**音と光で21世紀を創造**

所在地:〒602-8061 京都市上京区油小路中立売下ル甲斐守町97 西陣IT路地内  
代表者:代表取締役 岩内 義夫  
TEL:075-441-0544 FAX:075-441-0544  
資本金:1,000万円 従業員:10人  
担当部署:営業 担当者:中川 義朗  
URL:<http://www.jade.dti.ne.jp/~eishinkk>  
E-mail:eishinkk@jade.dti.ne.jp



**P R** ● 貼付型・軽量小型圧電スピーカー、地場銘竹とLEDを融合させたイルネーション照明(IC制御によるゆらぎ表現)(首周波数帯域と同調の照明)、携帯型ワイヤレススピーカー、PZT搭載骨伝導スピーカー、サウンドスクリーン等

**出展品** ● ①超小型・貼付型圧電スピーカー ②地場銘竹・杉LEDの融合商品  
③小型軽量「響」スピーカー ④PZT骨伝導スピーカー

**(株) ビースパッタ** 小間No. C-2-055 / 新製造技術

**薄膜技術によりナノレベルの成膜を手掛けます**

所在地:〒613-0024 京都府久世郡久御山町森川端97-1  
代表者:代表取締役 伊達 哲也  
TEL:075-631-4378 FAX:075-631-4393  
資本金:1,000万円 従業員:7人  
担当部署:営業 担当者:伊達 裕之  
URL:<http://www.be-sputter.co.jp/>  
E-mail:date@be-sputter.co.jp




**P R** ● 様々な基板材料(ガラス・セラミック・アクリル・PC・PETその他)の板物・成型品・立体物にナノレベルでの薄膜加工が可能です。  
機能膜から裝飾品、ご試作から量産まで弊社の表面処理の技術をご高覧下さい。

**出展品** ● スパッタリング成膜品  
①ITO透明導電膜 ②Cu合金シールド膜 ③その他表面改質膜

**(株) セネック** 小間No. H-3-001 / 加工技術

**樹脂加工における最先端の技術や創意工夫をいかして未来をつくる**

所在地:〒601-8185 京都市南区上烏羽成光町2  
代表者:代表取締役 本田 欣也  
TEL:075-672-0611 FAX:075-672-2412  
資本金:1,500万円 従業員:32人  
担当部署:営業部 担当者:前田 篤志  
URL:<http://www.cenec.co.jp>  
E-mail:maeda@cenec.co.jp




**P R** ● 他社では見られない樹脂溶接の商品や切削加工では困難な注型品のモデル加工等、創業28年間培った巧みな技と全国ネットのパワーをいかし最先端の技術を販売いたしております。汎用エンブラはもちろんの事、スーパーエンブラ等も幅広く扱っております。

**出展品** ● 塩ビ溶接加工、大型タンク製作、旋盤加工、パイプ加工、汎用切削、3次元切削モデル製作、大型カバーNC加工、アルミ切削加工他

**(有) 三翔精工** 小間No. H-3-011 / 加工技術

**高精度、高品位の製品を短納期でお手元へ!**

所在地:〒611-0041 京都府宇治市横島町一133-1  
代表者:代表取締役 三木 誠治  
TEL:0774-28-2661 FAX:0774-28-2660  
資本金:1,000万円 従業員:12人  
担当部署:営業 担当者:三木 誠治  
E-mail:sansyou@mti.biglobe.ne.jp



**P R** ● 比較的小さな部品を数百～数千個単位で精度を安定させた物作りを得意としています。展示品の多くはマシニングセンタだけを使い、切削の可能性を追求した品々です。

**出展品** ● ①肉眼で見えない程の極小サイコロ ②削り出し多連リング  
③内コーナピン角製品 ④その他切削加工品

### (株)西嶋製作所

小間No. H-4-026/加工技術

品質の信頼性をお試し下さい!年間品質を、良好安定させます!

所在地:〒612-8338 京都市伏見区舞台町41-4  
代表者:代表取締役 西嶋 晃次  
TEL:075-603-2233 FAX:075-603-2277  
資本金:3,000万円 従業員:40人  
担当部署:営業部 担当者:西嶋 亜紀彦  
URL: <http://www1.odn.ne.jp/nsjms/>  
E-mail: [nsjms@anet.ne.jp](mailto:nsjms@anet.ne.jp)



- P R** 秘密保持契約のため組立品現物や複雑な加工部品は展示できませんが、充分弊社の雰囲気を見抜いていただけます。ISO-9001は当たり前!ISO-14000今年度認証取得に向け活動中!超合理的製造システム再構築中!
- 出展品** ①医用機器・分析機器等の精密・複雑と出来映えの良い加工部品  
②電子機器の高品質な組立品やユニット組立品の写真パネル

### 丹後機械工業協同組合

小間No. H-5-038/加工技術

未来を拓くテクノロジー。丹後ハイテクランド

所在地:〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1620-1  
代表者:理事長 今西 俊明  
TEL:0772-62-0263 FAX:0772-62-6276  
出資金:9,715万円 会員数:110人  
担当部署:常務理事 担当者:寺田 昭夫  
URL: <http://tango-tc.jp>  
E-mail: [info@tango-tc.jp](mailto:info@tango-tc.jp)



- P R** 京都北部の日本海に面した当地域は200社以上の機械金属関連業者が集積。業種は精密型打鍛造、精密機械加工、精密機械装置製造等。各企業は最新鋭設備(NC、MC機械500台以上)で製品の付加価値化を展開しています。
- 出展品** ①丹後機械工業界を代表する企業数社による  
①精密鍛造品から一貫生産による機械加工部品 ②同時5軸制御加工等による精密機械加工品

### (株)大宮日進

小間No. H-5-038/加工技術

複雑形状の小物鍛造品を得意としあらゆるニーズの相談に応じます

所在地:〒629-2532 京都府京丹後市大宮町内195  
代表者:代表取締役社長 堀江 弘征  
TEL:0772-68-0800 FAX:0772-68-0880  
資本金:6,000万円 従業員:83人  
担当部署:管理部営業課 担当者:辻 幸美  
URL: <http://www.nissin-mfg.co.jp/omiya-index.htm>  
E-mail: [yukimi-tuji@nissin-mfg.co.jp](mailto:yukimi-tuji@nissin-mfg.co.jp)



- P R** 金型100%内作により金型設計~製作~プレス~熱処理迄自社一貫生産し材質はFeAl SUS非鉄等あらゆる材質の鍛造が可能。鍛造は小物の異形部品を得意とし製品単重1.5kg迄の精密鍛造が可能です。ISO登録工場として品質向上も安定し好評を得ております。
- 出展品** ①パネル展示 ②鉄・アルミ・ステンレス等の鍛造品の展示

### (株)積進

小間No. H-5-038/加工技術

難作材・小物複雑形状・大物精密部品はお任せ下さい!

所在地:〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1750-1  
代表者:代表取締役 田中 隆司  
TEL:0772-62-1020 FAX:0772-62-6000  
資本金:4,800万円 従業員:90人  
担当部署:業務企画部 担当者:田中 安隆  
URL: <http://www.sekishin.co.jp/>  
E-mail: [info@kyoto.sekishin.co.jp](mailto:info@kyoto.sekishin.co.jp)



- P R** 同時5軸マシニングセンタで加工した複雑形状のサンプルを多数展示します。また、完成した製品サンプルだけではなく、実際にマシニングセンタで加工しているシミュレーション映像を公開する予定です。
- 出展品** ①難作材加工品サンプル(チタン・タンクステン)  
②複雑形状加工品サンプル(インペラなど)

### (株)栗田製作所

小間No. H-8-105/加工技術

プラズマイオン注入成膜法による表面改質

所在地:〒610-0221 京都府綴喜郡宇治田原町湯屋谷 宇治田原工業団地内  
代表者:代表取締役 栗田 好雄  
TEL:0774-88-4811 FAX:0774-88-3708  
資本金:2,000万円 従業員:64人  
担当部署:成膜事業部 担当者:杉原 雅彦  
URL: <http://www.pekuris.co.jp>  
E-mail: [m-sugihara@pekuris.co.jp](mailto:m-sugihara@pekuris.co.jp)



- P R** 高硬度で潤滑性や耐摩耗性に優れているDLC膜(ダイヤモンドライクカーボン膜)をプラズマイオン注入成膜法により、3次元形状物に高密着に成膜可能な技術と成膜装置を紹介いたします。
- 出展品** プラズマイオン注入成膜技術と成膜装置

### (株)松菱製作所

小間No. H-8-132/加工技術

世界中でたった1つだけのオンリーワン冷蔵庫を設計製作致します

所在地:〒611-0041 京都府宇治市横島町島前2  
代表者:代表取締役 松岡 正  
TEL:0774-23-5121 FAX:0774-23-7851  
資本金:1,000万円 従業員:7人  
担当部署: 担当者:松岡 洋子  
URL: <http://www.matubisi.co.jp>  
E-mail: [matubisi@jeans.ocn.ne.jp](mailto:matubisi@jeans.ocn.ne.jp)



- P R** ワインセラーとは、温度12度湿度80%を常に保ち振動にも配慮し高級感溢れる美しさを持つ製品です。我々は業務用冷蔵庫を開発製造し続けて47年、研究と経験で開発した温度湿度一定管理の冷蔵庫を設置し京都の格子戸をイメージしたワインセラーを出展いたします。
- 出展品** ①京都格子戸のワインセラー京 ②曲線美のアレンジワインセラー

※大阪会場(10月27日(水)~10月29日(金) インテックス大阪)につきましては、次号でご紹介させていただきます。詳しくはホームページ(<http://www.sougouten.com>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業振興部  
マーケティング支援グループ(鳴海)

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240  
E-mail: [kigyo@ki21.jp](mailto:kigyo@ki21.jp)



## 輝きのブレークスルー。

先端のコンポーネツで、  
幅広いソーシャルニーズに応えるオムロン。

たとえば、携帯電話用の液晶バックライト。光を均一に拡散させる独自の技術により、飛躍的に明るく色ムラのないカラーディスプレイ表示を実現しました。この技術は、高輝度と高効率求められるプロジェクタやカーライトなどにも応用され、活躍の場を広げています。高度なセンシング&コントロール技術から生まれるオムロンの先端のエレクトロニクス・コンポーネツ。携帯電話から家電、自動車まで幅広い製品の高機能化をサポートし、人々のコミュニケーションや身近な生活を鮮やかに進化させています。



液晶用バックライト

従来方式に比べ約3倍の高効率を持つ周期的な導光板により、高輝度と低消費電力を同時に実現。また、単一光源方式なので色ムラのない画像が得られます。

液晶用バックライトの詳細情報: [www.omron-backlight.com/](http://www.omron-backlight.com/)

**OMRON**  
Sensing tomorrow™

オムロン株式会社 〒600-8530 京都市下京区堀小路通堀川東入  
広告についてのお問い合わせ 広報部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 TEL: 03-3436-7202 FAX: 03-3436-7029

[www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)

# 平成16年度「講演と交流のつどい」開催！

“だれもができる産学交流のすすめ”～けいはんな知的クラスター創成事業より～

去る7月21日、京都 Brighton Hotel にて、京都府異業種交流会連絡会議主催の「講演と交流のつどい」が開催されました。

京都府異業種交流会連絡会議第19回総会の後、関西文化学術研究都市地域 知的クラスター推進本部 事業統括の野依正晴氏に“だれもができる産学交流のすすめ”～けいはんな知的クラスター創成事業より～をテーマに講演いただきました。

異業種交流の原点に立ち返り、広域にわたる産学交流を通じてネットワークを結び、大学のシーズを産業界に活かしたビジネスの可能性をさぐり、新たなビジネスを創出する多様な産学連携の重要性を話されました。特に、「学」も含めた異業種連携による21世紀の産業を創出する時代であると強調されました。講演の後の“サークルディスカッション”では、19大学関係者と中小企業の方々の双方からの活発な意見交換と交流がおこなわれました。



講師：野依 正晴 氏

関西文化学術研究都市地域  
知的クラスター推進本部事業統括  
(前松下電器技術研究所所長)

## 今、なぜ産学交流が重要か？

私が産学交流を本格的に始めたのは、実は知的クラスターに来てからのことなのですが、本日は、その中で経験的に考察してきたことなどを少しお話しいたします。

まずはじめに、今、なぜ産学交流なのか、ということです。

最近ではデジタル家電をはじめとした差別化商品や、新概念型商品が脚光を浴びています。これらはプロダクト・イノベーションをベースにした商品群で、今の時代はイノベーションがとても重要なファクターなのです。

イノベーションが起こる必要条件是、新しい組み合わせです。例えば、“新しい知識”はジャンルの違う人とのディスカッション・研究から生まれやすく、また、ナレッジと企業家の組み合わせによって新しい事業創造につながるのです。

「大企業VSベンチャー」、「研究者VS経営者」、そして、「産VS学」といった異質との出会い・交流・協力・補完が新概念の商品の事業創造を可能にするわけです。

つまり産学交流が時代を切り開くひとつの鍵なのです。

## 知的クラスター創成事業にたずさわって

地域が連携してイノベーションを起こす、それが“知的クラスター創成事業”です。ご存じのように、“知的クラスター創成事業”は、文部科学省が平成14年度～18年度

におこなう時限プロジェクトで、特定領域の技術・産業に対して年間5億円の補助をおこなうものです。5年間で、産学共同研究を通じて知的クラスターのコアの形成を目指します。

知的クラスターのコアには次の4つが必要だと考えています。

1. 大学・公的研究機関の知的ポテンシャルや技術シーズ
2. 事業コンセプトで焼き直すための企業家・起業家
3. 大企業・中堅企業・ベンチャーの育成家と産業基盤
4. 連携・融合の仕組みと人

全国には18地域の知的クラスターがあり、どういう研究領域をとりあげるかという地域の主体性が重視されていますが、その分、地域の責任や成果主義的な結果が求められています。

中でも、私がたずさわっている知的クラスターは、文化的資産や風土を有している京都・大阪・奈良の三府県にまたがり、研究機関や大学、また周辺地域の産業集積が多様であることが特徴です。

また、テーマであるヒューマン・エルキューブ領域(ライフサイエンス・リビング・ラーニングの3つの“L”をあらわす)の研究プロジェクトには、植物バイオ、ネオカデン・健康福祉技術、次世代e-ラーニングなど8プロジェクトを推進しています。





## 成功の鍵は多様な産学連携

知的クラスターは、研究を最終的に事業につなげることが大切です。そのためは、餅は餅屋の言葉通り、フェイズ（過程）によってリーダーが変わるべきです。研究・開発のフェイズでは、大学や研究機関がリーダーになり、インキュベーションや事業化のフェイズでは、ベンチャーや企業がリーダーシップを発揮するのです。

更に、研究プロジェクトが事業シーズ創出エンジンの役割を担い、研究者と企業家により良いパートナーシップで強く結びつくことが不可欠であると思います。

また産学連携には、3段階のステージがあります。まず、ジョイントチームやパートナーづくり。次に、共同研究の実施、研究成果の創出。最後に、成果の活用・展開です。

特にはじめの“ジョイントチームがどのようにつくられるか”が、今、問われています。私の経験的考察では、役者は3人です。研究者と企業家、そして仲介者（コーディネータ）です。成功している多くの場合は、研究者と企業家の間にテーマの前に信頼関係がすでにあるのですが、これから広く産学連携がおこなわれるためには、コーディネータの役割が重要だと思えます。特にエレクトロニクス分野ではコーディネータの貢献が大きい場合が多くみられ、コーディネータ自身のアイデンティティを明確にする必要があります。

一方、バイオなどの新分野では、大学教授のリーダーシップがより求められています。産学連携に熱心で、行動的な先生であることや、極めて産業的インパクトの大きい

シーズであることなどです。

共同研究の実施、成果の創出へのヒントにも触れておきます。知的クラスター創成事業において共同研究を柔軟に進めるためには、研究は大学教授のリーダーシップが基本です。教授側は当初の研究目標重視から研究成果を考え、企業側はじっくり教授と付き合う覚悟が必要です。

事業への展開は企業家のリーダーシップでおこない、大学教授による研究資産の幅広い活用への見直しと、企業家による周辺副産物や部分的研究成果の事業への活用が鍵です。

## 産学連携で21世紀産業の創出

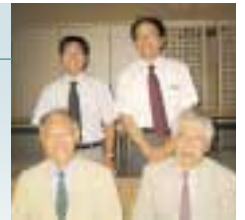
20世紀は、同業者が統合することにより、需要調整をおこなってきました。これに対して21世紀は、異業種連携による産業創出の時代です。

その鍵は産学連携です。企業側は大学教授への敷居が高いという感覚を打ち破り、企業の意見をしっかり伝えていくこと。大学教授側も企業の意見を聞く器量が必要です。

互いの努力を積み重ね、ロボット産業やナノテク産業などをはじめとした単一の産業界ではない、次世代技術をコアにした産業が次々と現れることを期待しております。

### 講演を終えて（野依正晴）

京都府はすごいなあ、というのが率直な感想です。産学連携に関わっている人、関わろうとされている人、さらにパラエティに富んだ方々が150名も参集とのことで、非常に熱心さが感じられました。芽が出始めてきた産学連携が、確実に実を結べばと思っております。



【お問い合せ先】

(財) 京都産業21 産業情報部 (異)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720  
E-mail:tatsumi@mail.joho-kyoto.or.jp

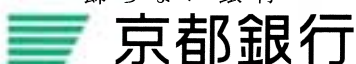
## ベンチャー企業支援室のご案内

### 業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 公的機関・大学等との連携により、各種支援施策の有効活用や技術情報の収集などを図り、ベンチャー企業の成長をバックアップしていきます。
- 色々な分野の専門家や専門機関を活用し、経営相談やM&Aなど幅広いニーズにお応えします。



飾らない銀行



お問い合わせは

法人金融部

ベンチャー企業支援室  
京銀KRPベンチャーデスク

TEL.075(361)8600  
TEL.075(315)9076

# 新たな産学公連携めざして

(財)京都産業21からのご提案 当財団の産学公連携推進の取り組みをご紹介します。

当財団では、産学連携が具体的に推進されるように、府内中小企業の皆様と府内外の20数大学に対し、情報交換の場や縁結びツアーなど7項目の提案を始めました。産学連携で共同研究や新技術・新製品開発に取り組もうとお考えの中小企業のみならず、是非当財団にご相談ください。財団では「産学公連携推進チーム」をつくり、大学ごとに担当する職員が責任をもってご希望の大学とのつなぎ役となって、「産」「学」の連携につとめます。

取り組みのメリット

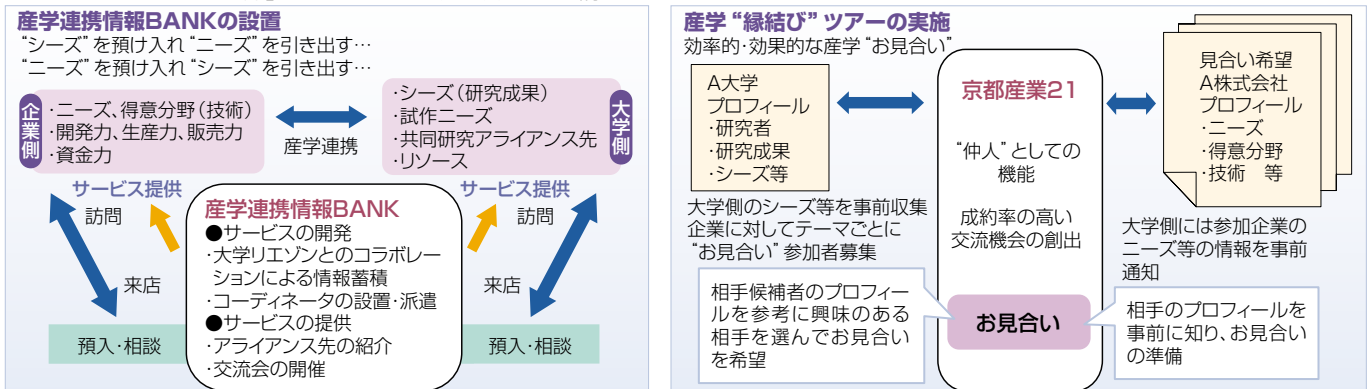
- 産学公連携コーディネート機能  
中小企業が気軽に利用できる『産学連携コーディネート機関』としての認知
- 産学公連携のビジネスモデルの構築・標準化  
出会いから新事業創出へのモデルづくり
- 産学公連携ビジネスプロデュース機能  
『産学公連携コーディネート機能』から『産学公連携ビジネスプロデュース機能』への転換

推進のための提案内容

- ・大学と財団との会合の定例化
- ・産学連携情報BANKの設置
- ・産学“縁結び”ツアーの実施
- ・学生インターンシップ
- ・企業間交流事業の活用
- ・大学リソース活用紹介
- ・財団情報誌での大学紹介

具体的には、次のような産学公連携イメージで展開を考えています。

『アクティブサポート京都』では、次回から順次各大学の情報やリエゾンの取り組みなどを紹介していきます。



【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産学公連携推進チーム

TEL:075-315-9234 FAX:075-314-4720  
 E-mail:office@ki21.jp

京都の京信、滋賀の京信、大阪の京信。

コミュニティバンク京信は、  
 地域とともに歩みます。



<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

京都市下京区四条通柳馬場 TEL(075)211-2111



# 京都産業21が設備投資を応援します！

企業の方が必要な設備を導入しようとする時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

区分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5名以下)の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。	
対象設備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	
対象設備の金額	実績が1年以上あれば100万円～6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内(償還期間) (ただし、法定耐用年数以内)	3～7年 (法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	<b>年2.50%</b> (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	<b>3年2.990% 4年2.296% 5年1.868%</b> <b>6年1.592% 7年1.390%</b>
連帯保証人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

## 割賦販売とリース、どちらにしますか？

それぞれの特徴をご理解のうえ、皆様に合った方をお選びください。

	割 賦	リ ー ス
所有権	・完済まで財団に所有権があり、完済すると所有権が割賦企業に移転します。	・リース期間中及びリース期間終了後においても所有権は財団にあります。 (リース期間満了後は、返還するか再リースするかを選択していただけます。)
レシート	・償還は6ヶ月据え置きです。 ・設備価格相当分は減価償却ができます。また、割賦損料部分は経費処理できます。 ・償還期間が法定耐用年数以内であれば最長7年と長期であるため、月々の償還負担が軽減できます。	・リース料は経費として全額経費処理できます。(そのため、節税効果があります) ・減価償却、固定資産税、損害保険料の支払いなどは財団が負担します。(管理事務も不要) ・契約時に自己資金が不要です。
留意事項等	・契約時に保証金として設備金額の10%を納付していただけます。 ・財団を受取人とした損害保険(火災保険)をかけていただけます。(保険料は企業負担) ・割賦設備の固定資産税を負担しなければなりません。 ・維持管理費は負担していただけます。	・維持管理費は負担していただけます。 ・リース期間中は、リース設備の更新及び中途解約はできません。 ・リース期間満了後、ご希望により、原契約の1か月分のリース料で1年間の再リース契約が可能です。再リースは何回でもできます。 ・リース設備は再販可能なものに限りです。

【お申し込み・お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業振興部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-315-9240  
E-mail:setubi@ki21.jp

## 恵まれた自然の中で、独創的な創造企業をめざして。



- ◆京の料亭 千寿閣
  - ◆ガーデンチャペル セントオーガスティン
  - ◆京料理 紙屋川
  - ◆プライダルサロン
  - ◆チャイニーズレストラン 楼蘭
  - ◆しょうざんプール
  - ◆焼魚肉菜レストラン ファーム
  - ◆しょうざんボウル
  - ◆とり料理 わかどり
  - ◆染織工芸館
  - ◆カフェテラス パウハウス
  - ◆染織ギャラリー
  - ◆日本庭園
- ◆きもの・帯 ◆アパレル ◆テキスタイル

**しょうざん**  
光悦芸術村

〒603-8451 京都市北区衣笠鏡石町47(金閣寺北800m)  
TEL.075-491-5101(代) FAX.075-495-2089  
URL <http://www.from.co.jp/shozan/>